

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月31日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103102
法人名	医療法人春風会
事業所名	グループホーム明和の家
所在地	鹿児島市明和5丁目1-15 (電話) 099-218-9121
自己評価作成日	平成26年12月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

12年目を迎える方のADL低下と、急変があり得る方が数名あり、なかなか揃っての外出は難しくなり、小人数での外出に切り替えております。玄関から目の前に見える桜島を眺めながら散歩をしたり、自家製椎茸を日光で乾燥させたり、畑の野菜収穫に職員と出かけたり、職員の家族から採れたて野菜が届くので、下処理や保存用にしたりと、家事活動を楽しんで頂いております。また、採れたてのミカンも出来る人が中心になり、ジースにしたり、皮を剥いてデザートにしたりと楽しんで頂いております。明るいフロアーには朝陽がさんさんと差し込み、心が落ち着く空間であると思います。今どきエレベーターがない施設ですが、ホールの広さと明るさは自慢です。

3

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年3月23日

鹿児島市の高台の静かな住宅地に在る「グループホーム 明和の家」は国道3号線にも近く桜島が一望できる日当りの良い環境に恵まれている。母体に病院と複数の関連施設を持ち、福祉に関わる体制が整えられ、職員の質の向上に向けた勉強会や、研修会が開かれ、常に利用者の体調管理と日常生活が営まれるケアを目指している。

管理者は地域の奉仕作業や行事、イベントなどに積極的に関わることで、防災訓練への参加もあり利用者も地域の一員として交流を図っている。

また昔ながらの保存食や行事食、自然菜園などにも力を入れており、利用者の得意とする分野を職員と共に楽しみ、気候の良い日は日光浴を兼ねて玄関前のフロアで歌を歌ったり、桜を眺めてお茶を楽しむ光景も見られる。

医療体制も整っており、独自の24時間ホットラインを通して利用者は医療に関する指導も仰ぐことができ、緊急時の連携も取れている。

明るく広いホールとそこからの眺めは利用者がゆっくりと、落ち着いて暮らすことのできる空間である。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I . 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設当初から地域密着型を視野に入れて法人全体で理念を作成しており、毎朝、申し送り時に全員で唱和し、自身のケアへの振り返りを行っております。	法人全体の理念とは別に、ホームでは年度末に一人ひとり反省をしながら新年度の個人目標を掲げ、「明和の家」としての目標と運営方針を定め、職員全員で共有し実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会へ加入し、定期総会・地域奉仕作業・班会等に参加し、運営推進会議を通じて情報発信したり、避難訓練時は地域に案内を配布し、毎回参加して頂いております。	町内会や老人クラブに加入し、地域の奉仕作業に参加したり、避難訓練時も住民の参加がある。今年度の夏は草取りや窓拭きなど、町内会ボランティアの参加もあり、地域住民に駐車場を提供するなど、ホームは地域の一員として交流している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域奉仕作業や班会・地域ネットワーク推進員として活動に参加したり、運営推進会議を通じてホームの情報を提供しご理解いただくように努めています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	「明和の家の新聞」を運営推進会議にて配布し、活動状況や地域からの入所相談等の情報を提供し、そこで出された内容については随時職員や本部にも報告致しております	市町村担当者や家族代表、民生委員をはじめとする運営推進会議は評価への取り組みや利用者へのサービス状況などが報告され、活発な意見や要望が出されている。不審者の侵入を防ぐため門の取り付けやセンサーも設置されるなど、そこでの意見を活かした取り組み実績もある。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて市の窓口に出かけて相談したり、地域の方からの相談時は地域包括支援センターとの連携を図っております	管理者は介護推進会議に出向いたり、運営推進会議のなかでも相談を行い、ホームの空状況も速やかに報告することで紹介もある。地域の方からの入居相談も市町村に連絡をとり、他ホームへ入居が決まった例もあり日頃から協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月、ミーティングで身体拘束委員会を開催し、身体拘束の弊害まで説明できるように研修に努めております。玄関の鍵については、夜間のみ安全の為施錠致しております	定期的な身体拘束委員会で新人研修も行い職員は具体的な行為を正しく理解しており、車椅子の利用者も食事時やおやつ時にも移乗を心掛け、言葉の拘束にも配慮している。日中の玄関の施錠はせず見守りと同行で対応し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	自主的に研修に参加し研修報告書と共に資料を回覧しています。また、日常的に話題にして意識するように努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間の研修計画には、必ず成年後見人制度について学ぶ機会を持つように、研修案内があればすぐに回覧し誰かが参加出来る様にしています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に一番大事にしているのが、「自己決定権は本人にある」言う点です。納得して入居出来る様に時間を十分掛けております		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にはご意見箱を設けており、面会時には必要な情報を伝え、県外のご家族様とはFAXや電話でこまめに連携を図り、ご意見をいただいております	毎年、法人全体で家族向けにアンケート調査を行い出された意見や要望は全ホームに発表され、管理者や職員は真摯に受けとめ、それらを運営に活かす姿勢である。ホーム内でも面会時に家族に聞いたり県外の家族にも電話などで情報交換をしている。臭いが気になった家族の意見も速やかに改善策を講じるなど、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフミーティングで出された意見を、管理者会議にて報告し、稟議書を通じて提案を受け入れて頂いております	職員は行事など担当者が決めてあり、毎月のミーティングで活発な意見を述べ、管理者は提案を聞き意見の反映に努めている。定期的に全利用者を把握するための入れ替えや、利用者と塗り絵や折り紙などコミュニケーションを図り資格取得にも積極的であり職員の意見が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	産休・育休を取り不安な中で復帰してくれて、頑張ってくれている職員を職場の雰囲気ですपोर्टしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修希望者には本部に稟議書を提出し参加させて頂いております。県外での宿泊研修にも参加させて頂き、ケアの質向上に努めております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	助勢を通じて他の施設職員との交流が来ています。また、本院主催の研修を通じて、ネットワーク作りや勉強会にも取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談があった時点で入所・入院先を訪問し、SWの方や主治医からのご意見をお聞きし、本人・家族の意向等、アセスメントから課題分析に力を入れて、本人の望む生活が出来るように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	他のサービスを利用する等して住み続ける事はできないのか、環境が変わる事による弊害等も説明し、家族の不安な事や、要望等にも耳を傾けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今、何ができなくて本人・家族が困っているのか等、一緒に掘り下げて考え、他のサービスの紹介も行いながら支援時期の見極めを行っております		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個人のできる動作能力に合わせて一緒に家事活動やレクリエーションをしたり、利用者同士で話し合いながら洗濯物を干したり畳んだりされています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族にお願いできる事は早めに相談し、家族との関わりが途切れないように自由な外出や外泊を支援致しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由に面会や・外出・外泊が出来るように支援致しております。	一週間に一回は友人が訪ねて来たり行きつけの美容室へ出かけ、家族と墓参りや外食を楽しんでいる。手先の器用な利用者は職員と一緒に小物を作り、スーパーへの買物、ドライブを兼ねて物産館へ出かけるなど、これまでの馴染みの関係の支援となっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	関係性に目配りしながら、双方が快適に生活が出来るように支援致しております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	治療終了後も希望があれば再入居する事が出来る事をお伝えし、安心して治療が出来るように関係機関との連携を図っております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人主体では危険が伴う場合もある為、本人・家族と話し合い、より安全な支援方法を検討するように努めております。	寝たきりの利用者も含め全員、暮らし方や希望を伝えることができるが、本人の思いと様子の格差がある場合は家族と安全を確認しつつ検討している。会話や日々の関わりのなかで一人ひとりの意向の把握に努め、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	長年慣れ親しんだ本人の生活歴等をしっかりアセスメントし、課題分析を通じて望む生活が出来るように支援致しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活パターンや心身状態を考慮し、できる動作能力に合わせて自立した生活の支援に努めております		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎朝夕の申し送り時・ミーティング・申し送りノートを活用し、必要に応じてプランに反映させております。又、定期的にモニタリングを行い、現状に応じたケアプラン作成に努めております。	利用者に必要な課題は申し送りノートに書き職員は全員で情報の共有とケアプランに活かす取組みである。本人からの要望と月1回主治医の意見、家族支援などそれぞれの意見を反映し介護計画は作成され、現状とかみ合っていない状況では、見直しもされている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居後は気づきシートにて情報収集を行い、プランが現状に合っているか等モニタリングを行い、必要に応じてプランの変更を行うように努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎回同じケアが通用する事はなく、柔軟なケアを行う事が重要である。情報の共有が統一したケアに繋がると考えております		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方と音楽や避難訓練を通じて会話を楽しめる支援を致しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内服に合わせて受診介助や往診を利用し、急変時は24時間ホットラインを通じて医師に相談し、必要な医療サービスが提供出来る体制を整えております。	かかりつけ医の受診であるが他病院の受診は家族と職員が同行する場合もある。歯科、皮膚科は往診があり、認知症の指定医も居る。法人専用の24時間ホットラインもあり、緊急時も指導を仰ぐことができ適切な医療をうけられる体制である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変化があれば支持母体の外来看護師・往診の看護師・薬剤師に報告・連絡・相談を行い、安心して生活を送れるように支援致しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は必要な書類を作成し、入院先の看護師・SW・医師・地域連携室との連携を図り、適切な医療を受けられるように支援致しております		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在看取りに近い状態の方が有り、医師・家族と面談を通じて、今後の方向性を決めております	入居時に重度化に向けたホームの指針を説明し同意を得ているが、状況に応じ主治医や家族と段階的な話し合いを行っている。ホームとしては嚥下ができる状態までの支援ではあるが現在、家族の役割分担と支援があり、今後の方向性を検討中である。職員は重度化に向けたケアの仕方の勉強会も開き、方針の統一を図りながら支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急法の研修に参加し、資格を取得し、定期的に研修を行うように努めております、		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回 避難訓練を実施し、職員は全員参加・地域の方やご家族様・運営推進会議メンバーの方にも参加して頂き、消防の方からご指導を頂いております。	運営推進会議も兼ねて、全職員と地域住民参加のもと避難訓練は行なわれ、今回、参加者は車椅子での誘導法も体験してもらった。消防署の指導ではしごも取り付けられ、防災頭巾や居室に取り残しのないように札も準備され、備蓄は入れ替えと保管場所を検討中である	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の人格のを尊重と、安全面も考慮しつつプライバシーの保護に努めております。	法人全体で2ヶ月に1回接遇セミナーが開かれ、交代で全員が出席できるように生まれ、レポート提出と、ミーティングで報告し共有している。利用者の人格を尊重し呼び名も本人の希望に合わせ、失禁時のさりげない対応に配慮し、個人情報も管理者の下で守られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	今何が出来なくて困っているのか、今起きている行動の意味は何かと常に考えて、決めるのは入居者様であるとの考えで支援致しております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先ではなく、常に主役は入居者様であるという考えを意識しております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	一日に数回更衣されてタンスに直しこんでおられ清潔不潔の区別がつかない事や、驚くような衣類の時もありますが、本人の「今」を大事に見守っております		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下処理・簡単な家事・味見・盛付け・お盆拭き等一緒に行い、主婦としての関わりが持てるように努めております	職員が交替で作る食事は旬の食材と栄養バランスを考慮し、桜の咲く時期は庭でお茶を楽しみ、家族に参加してもらい食事を一緒にするときもある。ツワの皮むきや梅干漬けなど手伝ってもらい、行事のそばつくりや餅つきも楽しみの一環である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な水分量や栄養量・摂取量を考慮し、水分拒否の方にも、さりげなく必要性を話題にしながら摂っていただくようにしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアと義歯洗浄を行い、口腔内が不潔にならないようにし、出来ない方には専用の物品で介助致しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンに合わせ、希望に応じてトイレやポータブルトイレでの排泄や・パットの種類を検討して、漫然とオムツに依存する事なく、少しでも自立に向けた排泄ケアを行うように努めております。	1日のパターンと1ヶ月ごとの排泄チェック表で一人ひとりに合わせた誘導を行い、リハビリパンツからパット交換を理解できるようになった利用者も居る。日中はトイレでの排泄だが、部屋にポータブルが無いと落ち着かない利用者には目隠しがされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維や水分量等をこまめにチェックし、個々に合わせて屋外歩行量を増やす等して便秘予防に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の順番はタイミングを見極めて言葉かけを工夫し、個々に応じた入浴を支援致しております。また、入浴できなくても必ず清拭・更衣を行い清潔保持に努めています。	週3回入浴は希望やタイミングに合わせての声かけ、シャンプーやリンスも好みの物を使い、入浴剤などでも楽しんでもらっている。皆、お風呂が大好きで異性介助も問題なく本人が希望する時だけ介助に入るなど、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起きられる時間や休憩時間も個々で違うので、本人に確認して決めて頂きます。寝る時間も個々で決められるので、必要な時間に支援を致しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が常に医療カルテで確認したり、症状や副作用等についても把握するように努めております。また、与薬時も職員間で声を出して確認する事で誤薬予防に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の生活歴や趣味を考慮したレクリエーションを計画し、完成させ、居室に飾る楽しみを持って頂けるように努めております		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	バスで恒例のファミリーレストランに出かけたり、近隣のドーナツ店に一緒に外出したり、地域の神社に出かけてお土産を買う等、普段は行けないような場所にも介助致しております。	気候の良い日はホームの外周を散歩することで近隣の方と話をしたり、神社に参拝に出かけている。家族とショッピングモールやデパートへ買物に出かけ、本人の希望があれば外でお茶することもある。恒例の送迎付き外食は職員も交えた楽しみの一つとなっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布に現金を持っておられる方もあります。受診時等しっかりとバッグを持って行かれます。神社のお賽銭は自分で持参されていました。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話では記憶に残らないのでFAXでのやりとりをされておられるご家族も有ります。ご家族への電話連絡時も本人と話して頂くように努めております		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの大きな窓から朝陽が差し込み、桜島の爆発も見えるので大変喜ばれています。居心地の良い空間と、環境としての私達のあり方、関わり方には気配り致しております。	明るく広いホールからは桜島が一望でき、利用者が思い思いの場所でくつろげるように大きな丸テーブルとソファや畳の間がある。利用者と職員で作った作品や折り紙の雛人形なども心を和ませ、トイレや浴室も清掃され生活空間の手入れがゆきとどき、居心地良く過ごせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	部屋に帰りたくて帰られても、部屋にテレビがあっても、やはりホールに出て来られます。夜も、眠くなるまでホールで一緒に会話を楽しみながら過ごされ、誘い合って部屋に帰り休まれます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には馴染みの物を持ち込んで頂き、自分なりの収納をされていますので、危険につながらない限り制限は致しません。	居室の入口にのれんを下げている利用者は消防の指導で防災スプレーで安全性を高めている。利用者は使い慣れた物を使いやすいように配置し、これまでの生活とのギャップを感じさせないように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個人の出来る動作能力に合わせて一緒に行うように努めております。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない